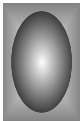


INFORMATION



2006年度 女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」候補者募集

女性科学者に明るい未来をの会より、「猿橋賞」候補者の推薦を依頼します。下記の要領で応募して下さい。募集内容、応募用紙などは各学会事務局に送付してありますが、電子メールでお申出頂ければ、様式を添付ファイルでお送りします。また、<http://www.saruhashi.net/>からもダウンロードできます。

- 1) 対象：推薦締切日に50歳未満で、自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者
- 2) 表彰内容：賞状、副賞として賞金30万円、毎年1件（1名）
- 3) 締切日：2005年11月30日
- 4) 応募方法：所定の用紙に受賞候補者の推薦対

象となる研究題目、推薦理由（800字程度）、略歴、推薦者（個人・団体）、及び主な業績リストを記入して、主な論文別刷10編程度（2部ずつ、コピーも可）を添え、5)の送付先までお送り下さい。

- 5) 推薦書類送付先：

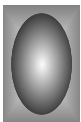
〒100-0005 千代田区丸の内1-4-3

UFJ信託銀行リテール総括部

女性自然科学者研究支援基金 江川康治

（封筒には、「猿橋賞推薦書類」と明記して下さい。書類は、猿橋賞選考のために選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承下さい）

- 6) 問合せ先：saruhashi2005@saruhashi.net



モナッシュ大学マレーシア校脳科学研究所 ポスドク研究員募集のお知らせ

モナッシュ大学マレーシア校（本校オーストラリア、メルボルン）では、2006年4月に開設される医学部付属脳科学研究所のポスドク研究員を募集いたします。本研究所では、ジェノミクス、プロテオミクス、神経幹細胞、ナノテクノロジー、神経情報科学、神経行動科学の6つの研究部門を開設し、主として生殖神経科学を中心としたプロジェクトに取り組みます。

博士号を持ち、以下のいずれかの経験を持つ方（必須ではありません）を広く募集いたします。

- 1) 分子生物学的技法（PCR, Cloningなど）
- 2) 電気生理学的技法（パッチクランプ、カルシウムイメージングなど）

- 3) プロテオミクス（タンパク解析、発現解析など）

- 4) プログラミング（ソフトウェア開発など）

勤務地：モナッシュ大学マレーシア校 医学部
脳科学研究所（マレーシア、クアラルンプール）

任期：任期付き（2～3年）

給与：NIH給与規定に準ずる。研究経歴に応じて3段階の給与体系。健康保険補助

研究分野：神経内分泌学、神経行動学、神経発生学

募集期間：2005年8月15日～2005年11月1日

応募書類：全て英文にて作成のこと

- (1) 履歴書（Curriculum Vitae）

(2) 研究業績リスト

(3) これまでの研究内容の概要

選考方法：書類審査および面接によりおこなう
連絡先：

〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5
日本医科大学 第一生理学教室
Ishwar S. Parhar (イシュワー シン パーハー)

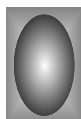
E-Mail : ishwar@nms.ac.jp

TEL : 03-3822-2131 (内線5328)

FAX : 03-5685-3055

URL : <http://www.med.monash.edu.au/medical/malaysia/>

まずはメール(英文)にてお問い合わせください。



応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会 講習会 —バイオテクノロジーの新展開—

主催：応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

日時：2005年11月17日(木), 18日(金)
10~18時程度(懇親会は11月17日, 講演終了後同所にて開催)

場所：武田ホール(東京大学 武田先端知ビル
5F 東京都文京区弥生2-11-16)

趣旨：

生体分子の機能を活かしたエレクトロニクスや分析診断チップ等種々のデバイスの研究・開発が盛んに行われています。こうした背景を元にバイオ分野に関わるM & BE分科会会員が年々増加しています。一方、まだまだ解明されていない事が多い分野でもあり、今後の展開を図るためにも先端技術の現状を知る意義は大きいと思われれます。そこでM & BE分科会ではバイオテクノロジー分野の現状と将来を会員の皆様を知る場を提供するため、バイオ・医学・材料・計測等異なった分野の先端的研究者に御講演いただく本講習会を企画いたしました。

主な講師(敬称略)：

岡野光夫(東京女子医大), 片岡一則(東京大学), 北森武彦(東京大学), 木下一彦(早稲田大学), 坂口謙吾(東京理科大学), 藤平正道(東京工大), 富重道雄(東京大学), 安田賢二(東京大学), 藤本啓二(慶応義塾大学), 横山昌幸(神奈川科学技術アカデミー)

参加費(消費税込み)：テキスト代含む

一般	学生		
M & BE分科会個人会員	7,500円	2,500円	
応用物理学会個人会員 または M & BE分科会賛助会員	15,000円	5,000円	
非会員	30,000円	10,000円	

懇親会参加費：4,000円(参加費と懇親会費は同時に振り込んでください)

参加締切：2005年11月8日(金)

定員：300名(定員になり次第締め切ります)

参加申込方法：

E-mail, Faxにて, subject: 「M & BE講習会」
参加申込と明記し, (1) 参加者名 (2) 所属先・住所・Tel・Fax・E-mail (3) 会員番号(仮会員番号可) (*) (4) 参加費種別・振込額・振込予定日 (5) 懇親会参加の有無 (6) 参加証送付先住所(宛名用)を明記の上, 下記までお申込下さい。入金確認後参加証(葉書)をお送りいたします。当日は, 参加証をご持参下さい。参加費の払い戻し, 請求書の発行はいたしません。領収書は会場にてお渡します。
(*) 非会員の方でも, 参加登録時に応用物理学会・M & BE分科会にご入会頂ければ, 本講習会より会員扱いとなり参加費が大変お得になります。下記応物ホームページより入会登録を行い, 仮会員番号を取得した後に事前参加登録

を行ってください。(応物既存会員の方でM & BE分科会に入会される方は、下記応物ホームページの会員登録の変更から追加入会してください。)

<http://www.jsap.or.jp/>

年会費：A会員（分科会のみ）4000円，B会員（応物会員）3000円，学生会員1000円

申込先：応用物理学会 分科会担当 伊丹

Tel：03-3238-1043, Fax：03-3221-6245,

E-mail：divisions@jsap.or.jp

参加費振込先：

三井住友銀行 本店営業部（本店も可）

普通預金 3379632

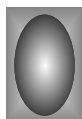
（社）応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

問合せ先：松田直樹（産業技術研究所 実環境計測・診断研究ラボ）

Tel：0942-81-4061

E-mail：naoki.matsuda@aist.go.jp

世話人：渡辺 修（豊田中研），田中 賢（北海道大学），藤村 徹（日立製作所），松田直樹（産総研）



第27回宇宙ステーション利用計画ワークショップ 開催概要

会合名：第27回宇宙ステーション利用計画ワークショップ

開催日時：平成17年12月7日（水）

10：00～17：30（予定）

平成17年12月8日（木）

10：00～17：30（予定）

開催場所：江戸東京博物館（〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1）

アクセス：JR総武線両国駅より徒歩3分

会合の内容及び目的：国際宇宙ステーション（ISS）に参加している各国の状況および我が国の推進体制，現状を紹介する。これによりISSを利用する研究者並びに国民の理解を深め，利用の拡大・多様化を目指す。また，国内外の環境の変化に伴う対応方策について議論を行い，ISS利用の有効活用を図り今後の計画に反映する。

主催者名：独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

共催者名：文部科学省（予定）

後援団体名：総務省（予定）

参加費：無料

詳細問い合わせ先：

（財）宇宙環境利用推進センター

宇宙実験推進部 担当：佐藤

〒169-8624 東京都新宿区西早稲田3-30-16

TEL：(03)5273-2442 FAX：(03)5273-0705

E-mail：sepd@jsup.or.jp

（参考）

●宇宙航空研究開発機構ホームページ：

<http://www.jaxa.jp>

●（財）宇宙環境利用推進センターホームページ：

<http://www.jsup.or.jp>